

公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書(ホームページ公表用)

平成21年 5月18日

1 実績報告者

助成受給者 (団体)名	(フリガナ) キュウキュウボランティア イエスピー オダカ ダイヒョウセワニン コバヤシ チイコ 救急ボランティア E. S. P. Odaka 代表世話人 小林 ちい子 ESPは Emergency first aid Spread People Odaka (応急手当を普及する小高の人たちの頭文字)
----------------	--

2 活動名称

心 肺 蘇 生 法 の 普 及 啓 発 活 動 を 推 進 し 、 1 人 で も 多 く の 人 が 助 か る 様 、 救 命 率 の 向 上 を め ざ す 。
--

3 助成コース・助成額・活動期間

助成コース名	○ スタートアップ支援コース (10万円以下)	助成額	事業費総額
	※助成を受けたコースに○印を付け、助成額・事業費総額(実績)を記入して下さい		
	※県民運動実践コースの場合は右記のどの重点テーマに該当する活動か、該当するものに○をつけて下さい。		
	地域コミュニティの再生		
	子育てしやすい環境づくり		
	環境問題への対応		
活動期間	平成20年 10月 1日 ~ 平成21年 3月 31日		

4 実施した活動の実績・成果

<p>(1) 実施した活動の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内の各行政区や事業所、学校、各種団体からの救命講習会の開催希望を消防署が受付て講習会を開催し、消防署から我々救急ボランティア団体に指導の協力要請がきて、消防署員とともに指導に出向いたもの。(講習内容はAED操作を含む人工呼吸と心臓マッサージの3時間コース) ボランティアの各会員が地域やサークル、職場で救命講習会の必要性を説き、普及啓発活動を推進したところ、講習会の開催回数と受講者は前年度をはるかに越えるものとなった。 消防署に応急手当普及員(指導員)養成講習の開催を依頼し、普及員(指導員)として認定された方から入会希望者を募り会員を増員し指導協力体制を万全にした。 消防署の救急救命士を講師に迎え研修会を開催し会員の指導技術の練磨に努めるとともに災害時にも対応できるよう三角巾の取り扱いや毛布による担架作成方法の訓練を実施した。
<p>(2) 活動の成果</p> <p>普通救命講習会(AED操作を含む人工呼吸と心臓マッサージ)は17回実施し、当団体会員の指導協力人員は延べで123名 講習会の受講人員も452名となりました。</p> <p>特に中学生138名、高校生66名も受講しており1回の講習会で30人を超える場合、当地区を管轄する消防分署では職員の規模的に実施は困難であったことから、我々の指導協力により受講者側のニーズに応えられスムーズな講習会を実施することが出来ました。</p> <p>また行政区や企業等で講習した際、親近感と親しみを持って受講できたと、私たちの活動に関心を持っていただき、わかりやすかった、こんな大切なことはみんなに教えたほうがいいとか、いままで関心がなかった人も心新たに認識していただき、講習会の受講者が増えたことは、普及啓発活動に貢献し一定の成果を上げることができたのとも考えます。</p>
<p>(3) 今後の課題</p> <p>救命講習の受講者が増えてきたとはいえ、まだまだ区民の皆さん全員に必要性が浸透しているわけではなく、消防署だけでは普及啓発には限界もあるので、我々救急ボランティアが民間人としてサポートし、今後益々地域やサークル、職場で救命講習会の必要性を説き、普及啓発活動を推進して行きたい。そして指導協力体制を万全にし、受講希望者のニーズに応え救命講習をいつでも開催できるよう消防署とタイアップをとっていきたい。</p> <p>また、タレントの松村邦弘さんがマラソンで倒れ、近くにいたボランティアによるAEDの処置で救命されましたが、我々も積極的にマラソン大会等に救護協力のボランティアとして参加し1人でも多くの人を救えるよう活動していきます。</p>

【 活動実績（写真） 】

助成受給者
（団体・グループ）名

救急ボランティア E. S. P. Odaka



応急手当普及員(指導員)養成講習会



企業に対する救命講習指導



研修会(講義)



研修会(実技)



市民(行政区)に対する救命講習指導



市民(行政区)に対する救命講習指導



中学生に対する救命講習指導



高校生に対する救命講習指導